

**地域づくりオープンカフェ  
西会津町奥川地区  
奥川中町集落での取り組み**

**福島大学行政政策学類  
岩崎ゼミ**

**2020年2月8日**

# 1. 岩崎ゼミの紹介

## ▶ テーマ:『農山村地域の持続可能性を探る』

現代の日本において、高齢化・過疎化が進んだ農山村地域は今後ますます進行していく人口減少社会の『先進地』である。

そこで私たちは、農山村地域を私たちの生き方・暮らし方を見直すうえで多様な可能性を持つ地域として捉え、現地でのフィールドワークを通し、地域再生に向けた視点・方法を学んでいる。

## 2.西会津町の概要

- ・位置  
西会津町は福島県の西北部、新潟県との県境に位置する。
- ・人口  
男性：3071人・女性：3287人 計：6358人  
(令和2年1月28日現在) 世帯数：2655世帯  
1995年からの20年間で約3200人程度減少。
- ・土地  
298.18km<sup>2</sup>。うち約86%は山林。  
冬は平均最深積雪量が142cmの雪深い地域。

## 3.奥川地区の概要

- 人口 680人(男：327人、女：353人)  
西会津町の総人口の1割を占めている。  
21の集落から形成されており  
ほとんどの集落で高齢化率50%を超えている。



## 4.活動スケジュール

活動日	活動内容
4月28日～29日	西会津町春の人足体験ツアー
6月1日～2日	七観音ウォーク
7月20日～21日	奥川夏の人足体験
8月14日	奥川盆踊り
8月18日	極入大聖歡喜天祭礼
9月13日～15日	出戸岩屋祭り・一日孫体験・敬老会
11月3日～4日	奥川新そば祭り・杉山集落活性化事業
11月30日～12月1日	西会津町奥川秋の人足ツアー

# 5.今年度行った実証実験の紹介

①一日孫体験

②人足体験ツアー

③地域の祭礼や行事への参加、ボランティアの拠点作り



# ① 一日孫体験

- ・ 学生が集落の方のご自宅に訪問し、聞き書きを行った。  
自宅で世間話をするようにお話しすることでさらに親睦を深めることができた。  
聞き書きでは、自らの人生の歴史や、地域の暮らし、仕事の変化についてお話しいただいた。



# ・ 一日孫体験の聞き書きを通して印象に残ったこと

## ①質問：地域の暮らし等の変化について

86歳女性：おらいの父ちゃん（夫）は出稼ぎにででんの。

だからおれ一人で稼がなんねえの。・・・やっぱ嫁だから苦労はした。

苦労したなんては言えねえからずっと忍んで今まで黙ってた。

## ②質問：中町集落の今後について

88歳女性：なくしたくはないよ。・・・でも都会にみんな出てってしまうから。

年寄りがいなくなったら終わりだよ。

## ③質問：現在の仕事、生きがい、趣味や楽しみ

69歳男性：生きがいはあなた方みたいな大学生と接することだべな。

趣味であり、楽しみであり、生きがいであり。とにかく

知らない人としゃべるのがいいな。

## ②人足体験ツアー

- ・人足体験とは集落の共同作業（水路の掃除や草刈り）を住民の方と協力して行うことである。
- ・作業終了後には近くの集会所で懇親会を行い、集落や人足作業の現状についてお話を伺った。
- ・今年度初めて会津大学の留学生が参加し、人数が増えたこともあり新たに2つの集落が協力してくれた。



### ③地域の祭礼や行事への参加、人足ボランティアの拠点作り

- ・杉山集落活性化事業

「上様御小休所」という石碑を観光資源にしたいという住民の発案で、石碑までの小道の整備をお手伝いした。



## ・敬老会

住民による楽しい出し物がいくつもあった。  
学生も、じゃんけん大会とマジックを披露した。  
参加者にも楽しんでいただき、学生の存在を昨年以上に知ってもら  
うことができた。



# 6.今年度の振り返りと来年度への展望

## ①一日孫体験

昔の集落の暮らしや仕事の変化について、住民自身の語りを通して知ることができたのは大きな成果だった。

地域の歴史や屋号を調べている区長の岩橋さんの活動に学びながら、現在は行われていない行事を学生参加で復活させたり、個人史の冊子を作るなど、地域の歴史や経験を次世代につなぐ活動を行っていききたい。

### 中町集落の屋号

大下(おおしも) 集落の一番下(しも)に家があった  
南洋(なんよう) 戦時中南洋(サイパン)に渡り終戦後引き上げてきたため 下村の分家  
車庫(しゃこ) 以前バスの車庫に使われていた所に住んでいたため  
野原(のばら) 字名 下村の分家  
背戸(せと) 字名  
四十判(しじゅうかり) 中町集落の肝煎り 下村の分家  
下村(したむら) 字名  
酒屋(さかや) 造り酒屋だったため  
結城ホテル(ゆうきホテル) 簡易旅館だったため  
大上(おおかみ) 集落の一番上(かみ)に家があるため  
中村屋(なかむらや) 旅館だった  
法印様(ほういんさま) 修験者だったため(羽黒山 奇光寺 真言宗)  
藤次郎(とうじろう) 先祖の名前  
大工様(だいくさま) 家業が大工だったため  
大上(おおうえ) 集落の一番上(うえ)に有ったため  
ためお  
中村(なかむら) 字名  
時計屋(とけいや) 家が時計屋だったため  
山岸(やまぎし) 家が山の岸にあったため  
丸三(まるよ) 焼印が◎の印だったため  
壁屋(かべや) 家が左官だったため 野原の分家  
港屋(みなとや) 駄菓子店だったため  
佐々木(ささき) 小売店だったため  
こうじゃ  
角(かど) 道路角に家があるため 下村の分家  
床屋(とこや) 理髪店だったため  
中野屋(なかのや) 旅館だったため  
お医者様(おいしゃさま) 家が医者だったため  
新宅(しんたく) 新しい家だったため ⇒ 越後屋(えちごや) 売り酒屋だったときの

岩橋さんが作成した屋号一覧

# 6.今年度の振り返りと来年度への展望

## ②人足体験ツアー

今年度はツアーの参加者が増えたことで、2つの集落が新たに参加してくださった。来年度は完成した活動拠点を活かし、ゼミ外の学生や他大学の学生の参加も募りながら、人足体験ツアーの充実や今後の地域づくりについてともに考えるワークショップなどを企画していきたい。



## 6.今年度の振り返りと来年度への展望

### ③集落誌の作成

一日孫体験や人足体験ツアーを踏まえて、集落の情報を一冊で理解できる集落誌を作成する。

- (1)集落について共通認識を図る教科書的作用
  - (2)ゼミ活動のスムーズな引継ぎを助ける作用
  - (3)集落の文化、慣習を保存する史料的作用
- の3つの作用が期待できる。

誌はPDFの形式で作成し、住民の方には冊子で配布する。  
毎年の活動を更新することで、大学生事業の取り組みを継続的に発信していきたい。

ご清聴ありがとうございました。